

令和8年度中国・四国地区国立大学法人等技術職員組織マネジメント研究会 参加報告

共通機器室 共通利用機器管理班 前田誠

1. はじめに(目的等)

技術職員に求められる能力、仕事内容は日に日に多様化しており、日々業務をこなすだけでなく、マネジメント能力、さらにはそこから派生して組織全体を見渡して、より多くの要望に応えられるように組織を改善していく能力が求められている。そこで、本研究会に参加し、他機関の管理職の方達と交流しながら、講義を拝聴することで、マネジメント能力の強化を目的として、参加した。

1. 期間・場所

期間： 令和8年8月20日（木）～8月21日（水金）

場所： 高知大学朝倉キャンパス

2. 参加者等

中四国地区の国立大学法人及び国立高等専門学校技術職員 25 名

3. 具体的な参加内容

20 日（木）：セミナー 「部下との面談力向上研修」（一部グループワーク含む）

株式会社 インソース

21 日（金）：講義 「アンガーマネジメント-感情を整え、職場の信頼関係を築く-

高知大学 副学長 矢野宏光

機関代表者発表

高知大学/高知工業高等専門学校

まとめと感想

初日のセミナーでは具体的な事例を通して、部下と面談する際に気を付ける点などを学ぶことができた。二日目の講義では、日々の業務の中に存在する「怒り」との上手な付き合い方、機関代表者による発表から各機関の活動内容や課題点などを知ることができた。二日間を通して、日々の業務をこなすだけでなく、組織全体として成長していく、生まれ変わっていくために必要なものを学ぶことができた。今後は学んだものを日々の業務の中に活かし、少しずつでも組織全体の改善に貢献ができればと思う。